

第34回全国小学生バドミントン選手権大会開催要項

1. 主 催 公益財団法人日本バドミントン協会・日本小学生バドミントン連盟
2. 主 管 広島県バドミントン協会・広島県小学生バドミントン連盟
3. 後 援 スポーツ庁・広島県・公益財団法人広島県スポーツ協会・広島市・中国新聞社
4. 助 成 公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団・公益財団法人ミズノスポーツ振興財団
公益財団法人広島県スポーツ振興財団
5. 特別協賛 ヨネックス株式会社
6. 協 賛 B I P R O G Y 株式会社、ミズノ株式会社、株式会社ゴーセン、ファイテン株式会社、
アイベックススポーツ株式会社、株式会社V I C T O R S P O R T S、プリンス、
クリオ販売会社、ウイルソン、株式会社落合コーポレーション、FUNPORT株式会社、
コレモ、名鉄観光サービス株式会社
7. 期 日 2025（令和7）年12月19日（金）～23日（火）
第1日目 12月19日（金） 受 付 8:30～ ・前日練習 9:00～
各都道府県代表者会議 14:30～・開会式 16:00～
第2日目 12月20日（土） 団体戦（1～3回戦） 8:30～
第3日目 12月21日（日） 団体戦（準々決勝～決勝） 8:30～
個人戦（4・5年生男女単複1・2回戦）13:00～（予定）
第4日目 12月22日（月） 個人戦（6年生男女単複1～3回戦） 8:30～
個人戦（4・5年生男女単複3回戦～準々決勝）
第5日目 12月23日（火） 個人戦（6年生男女単複準々決勝～決勝） 9:00～
個人戦（4・5年生男女単複準決勝～決勝）
表彰式 14:00～（予定）
8. 会 場 広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）
〒730-0011 広島市中区基町 4-1 Tel. 082-228-1111
9. 種 目 団体戦：都道府県対抗男子の部 都道府県対抗女子の部
個人戦：男子シングルス 4年生以下 女子シングルス 4年生以下
5年生以下 5年生以下
6年生以下 6年生以下
男子ダブルス 4年生以下 女子ダブルス 4年生以下
5年生以下 5年生以下
6年生以下 6年生以下
10. 競技規則 2025（令和7）年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
11. 競技方法 団体戦
①男女ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
②試合は、複・単1・単2の順に行う。同一試合において単複を兼ねることはできない。
③いずれかのチームが初戦の場合は全部の対戦を行う、以降は2勝打ち切りとする。
④チーム編成は、監督1名・コーチ1名・選手6名以内とする。
個人戦
① 各種目ともトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。（一人一種目のみ出場可）
12. 使用用器具 （公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度第1種検定合格シャトルを使用する。

13. 参加資格
- ①(公財)日本バドミントン協会及び日本小学生バドミントン連盟登録者で、都道府県協会長及び都道府県小学生組織代表者が認めた選手であること。
 - ②団体戦については、各都道府県の大会または選考会等において公正に選ばれ、かつ①の資格を有する選手で構成され、各都道府県を代表するチームであること。なお、北海道については二つに分割された「北北海道」「南北海道」の各地区からの出場を、また、開催地の「広島県」からは2チームの出場を認める。
 - ③ 個人戦については、①の資格を有する選手で各種目とも全国を9ブロックに分け、各ブロックの予選会において選出された選手(関東・北信越・九州ブロックは4人・4ペア、その他のブロックは3人・3ペア)であること。ただし、ダブルスは同一クラブのペアに限る。なお、開催地の「広島県」には、各種目とも3人・3ペアに出場枠を与える。
 - ④ブロック予選会の日程が、(公財)日本バドミントン協会選手強化本部ジュニアチーム部主催の国際大会等への派遣事業と重なった場合、当該ブロックの指名選手は推薦による出場を認める。
 - ⑤前年度同大会5年生以下シングルスベスト8及び4年生以下シングルスベスト2の者に出場枠を与える。
 - ⑥監督・コーチは(公財)日本バドミントン協会登録者で同協会公認審判員資格登録者もしくは(公財)日本スポーツ協会公認バドミントンコーチ資格取得者とする。
 - ⑦団体戦における監督・コーチ・選手の変更は、代表者会議開催の1時間前までに変更届を提出すれば認める。
 - ⑧個人戦のコーチの追加変更は、代表者会議開催の1時間前までに変更届を提出すれば認める。
 - ⑨個人戦のコーチは誰がどの選手のコーチであるか、限定はしない。
14. 組 合 せ (公財)日本バドミントン協会指名のレフェリーもしくは、デビュティールフェリーの指示のもと、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

15. 参加料及び払込方法

参 加 料 : 団体戦	1 チーム	20,000円
個人戦	シングルス	4,000円
	ダブルス	8,000円

払込方法：参加料は都道府県で一括の上、令和7年11月8日(土)までに下記口座に振込むこと。

※個人名義でのお振込みではなく、都道府県協会名でお振込みください。

振	金融機関	ゆうちょ銀行
込	口座名義	広島県小学生バドミントン連盟 理事長 香嶋 純
先	口座番号	(記号) 15160 (番号) 59665881 ゆうちょ銀行以外から振込む場合 (店名)五一八 (口座番号) 5966588

16. 申込方法と申込締切期日

①申込方法

所定の申込用紙を日本小学生バドミントン連盟ホームページまたは大会公式ホームページからダウンロードし、必要事項をすべて入力してから印刷を3通取り、各々を正・副・控として、正・副に各都道府県協会長の印を捺印の上、都道府県協会毎に一括して申込み締切日までに下記(1)及び(2)へPDFにして送信すること。

なお、入力した「申込書(副)」のファイルも、Eメールにて大会事務局へ送付すること。
氏名・クラブ名等はプログラムにそのまま使用するので正確に入力のこと。

(1) 正 〒068-0013 北海道岩見沢市東町1条8丁目1363-24 池田 忠広 気付
日本小学生バドミントン連盟 事務局 宛
Eメール：info@syobad.jp

(2) 副 〒739-0402 広島県廿日市市対巖山2-2-15 香嶋 純 気付
第34回全国小学生バドミントン選手権大会 事務局 宛
Eメール：jun-k@ms2.megaegg.ne.jp

(3) 控 各都道府県協会で保管のこと

あわせて、日本バドミントン協会の会員登録システムから以下のデータも参加
申込書と一緒に送付して下さい。(参加選手及び監督、コーチ)
確認の方法については、日本小学生バドミントン連盟のHPに掲載します。

②申込締切期日 2025(令和7)年11月1日(土) 必着

17. 表彰

団体戦

- ①優勝チームに優勝旗(持ち回り)、優勝楯、賞状を、各選手に(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを授与する。
- ②準優勝・3位チームに賞状を、各選手に(公財)日本バドミントン協会入賞メダルを授与する。
- ③5位のチームに賞状を授与する。

個人戦

- ①優勝者に優勝杯(持ち回り)、賞状、トロフィーと、(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを授与する。
- ②準優勝・3位の選手に賞状、トロフィーと、(公財)日本バドミントン協会入賞メダルを授与する。
- ③5位の選手に賞状を授与する。
- ④男女6年生以下シングルの優勝者に文部科学大臣杯、賞状を授与する。

18. 代表者会議 日時：2025(令和7)年12月19日(金) 14:30～

場所：広島県立総合体育館(グリーンアリーナ) 大会議室

〒730-0011 広島市中区基町4-1 TEL. 082-228-1111

出席者：各都道府県より2名以内とする

19. 大会事務局 〒739-0402 広島県廿日市市対巖山2-2-15 香嶋 純 気付

第34回全国小学生バドミントン選手権大会 事務局 宛

(携帯：090-2861-0807)

(e-mail：jun-k@ms2.megaegg.ne.jp)

※問い合わせはできる限りEメールでお願いします

20. 宿泊 協賛スポンサーである名鉄観光には、大会運営に協力をしていただいておりますので、参加選手は幹旋する宿泊、昼食弁当をご活用いただきますよう、ご協力をお願いします。

21. 備考 (1) 競技中の着衣は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品を着用し、上着背面に「都道府県名、氏名(フルネーム)」を表示すること。

○	○	○	○
(都道府県名)			
○	○	○	○
(氏 名)			

(※大きさは、縦 25 c m ・ 横 30 c m以内とする)

(※プリントも可とするが、所定の範囲内とする)

なお、文字の表示は(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第 24 条を適用する(高さ 6～10cm) が、本大会は日本小学生バドミントン連盟「ユニホームに係る広告(ロゴ) スポンサー名等について(令和 6 年 4 月 1 5 日)」によるものとする。

- (2) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- (3) 新型コロナウイルス感染症等拡大防止対策を行う場合は、大会HPで案内します。
- (4) 競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、傷害保険は(公財)日本バドミントン協会に加入していますので、必要な方は、日バホームページの 1 種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。